

# 子どもの笑顔を家庭・地域に届けよう

## 事例編



- 事例 1 家庭・地域の方々に学校での子どもの姿を見てほしい**  
→ 学校公開日・参観日を定期的に設定し、分かりやすい案内を配付する。
- 事例 2 外国人児童の保護者にも確実に情報を伝えたい**  
→ 外国人児童の保護者向けの通信や案内文書を作成し、配付する。
- 事例 3 家庭・地域からの協力を得て、健やかな子どもを育てたい**  
→ 経営方針や校長の思いを学校通信に掲載する。
- 事例 4 担任の思いや子どもの活躍する姿を伝えたい**  
→ 担任の思いのこもった学級通信を積極的に発行する。
- 事例 5 地域の多くの方々に来校してほしい**  
→ 通信や案内文書を直接届けたり、回覧板で回したりする。
- 事例 6 学校のサポーターを増やしたい**  
→ 魅力的な学校行事や地域一体型の学習を設定する。
- 事例 7 “子どもの輝く姿”を家庭・地域の方々にタイムリーに伝えたい**  
→ ブログ形式の Web ページを積極的に更新する。
- 事例 8 学校の話で、親子のコミュニケーションを広げたい**  
→ 「親子で考えてほしい話題」を掲載する。
- 事例 9 子どもの学力や学習習慣を向上させたい**  
→ 全国学力・学習状況調査の結果と考察を発信する。
- 事例 10 子どもを安全に登下校させたい**  
→ 子どもの安全安心に係る情報をメールで配信する。
- 事例 11 家庭・地域の方々の反応をすぐ知りたい**  
→ Web ページ上での即時アンケートを実施する。

編集後記

愛知県義務教育問題研究協議会委員・専門部会委員・事務局

## Plan

## 家庭・地域の方々に学校での子どもの姿を見てほしい

- 現状**
- 約20年前に開校した新しい学校。新興住宅地があり、核家族で共働きの保護者が多い。
  - 地域には協力的な方々が多いが、本校の卒業生が少ないため、「学校や子どものことをもっと知りたい」という声をよく聞く。

## 計画

学校での子どもの様子を見ていただく機会を設定し、子どもの生の姿を見てほしい。



## Do

## 学校公開日・参観日を定期的に設定し、分かりやすい案内を配付する

- 学校を自由に参観できる学校公開日を学期に1回程度、1時間の授業を参観できる授業参観日を2か月に1回程度設定し、分かりやすい案内文書を配付する。

## 【A小学校の取組の詳細】

- ※ 教科や授業する場所を示した案内文書を家庭へ配付し、地域へはWebページで案内している。
- ※ 学校公開日は、一日もしくは半日、授業や給食、掃除等の様子を自由に参観できる日としている。

- 一日の予定、各クラスでどのような授業が行われるか、分かるようにしている。
- 保護者参加型授業を行うこともある。

- 『親子防災教室』のテーマ「避難所体験をしてみよう～今、あなたにできること～」と、具体的な活動内容が分かるようにしている。

保護者 各位  
平成27年9月17日  
A市立A小学校長

第2回学校公開日及び「親子防災教室」の御案内

残暑の候、保護者の皆様には、御清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に御理解と御支援を賜り、ありがとうございます。

さて、第2回学校公開日を下記のように実施します。また、今回は第5校時に「親子防災教室」を開催いたします。〇〇先生を講師にお招きし、通学団別に集まって体験ワークショップ形式の活動を行う予定です。是非、御家族の皆様で御来校いただき、子どもたちの活躍する様子を参観していただくとともに、喫緊の課題である「南海トラフ大地震」等の地震対策を御家族で考える機会にさせていただきますよう御案内申し上げます。

記

1 日 時 平成27年10月23日(金) 8時50分～

2 日 程

学年	組	第1校時 8:50～9:35	第2校時 9:45～10:30	第3校時 10:50～11:35	第4校時 11:45～12:30	第5校時 14:00～14:45
1年	1組	国語【教室】	算数【教室】	生活科「サツマイモの収穫祭」 【学級菜園】		給食・ 清掃・ 昼休み 親子防災教室 【体育館】
	2組	算数【教室】	体育【運動場】			
2年	1組	国語【教室】	算数【教室】	体育「縄跳び大会」【運動場】		
	2組	算数【教室】	国語【教室】			
3年	1組	国語【教室】	社会【教室】	学活「宿泊学習反省会」【集会室】		
	2組	算数【教室】	理科【理科室】			
4年	1組	算数【教室】	国語【教室】	学活「修学旅行報告会」【体育館】		
	2組	国語【教室】	算数【教室】			
5年	1組	道徳【教室】	国語【教室】	生活単元学習「お店屋さんを開こう」 【3組教室】		
	2組	道徳【教室】	算数【教室】			
6年	1組	国語【教室】	社会【教室】			
	2組	理科【理科室】	算数【教室】			
特別 支援	3組	生活単元学習「お店屋さんを開こう」 【3組教室】			協力学級へ	
特別 支援	4組					

※ 午前中は、授業や休み時間の様子を御自由に御参観ください。  
※ 14時から「親子防災教室」を行います。児童は13時55分に体育館へ入場しますので、保護者・地域の皆様はそれまでに体育館にお入りください。

3 親子防災教室について  
(1) テーマ「避難所体験してみよう～今、あなたにできること～」  
(2) 講師 愛知県〇〇地区〇〇〇〇の会 〇〇〇 氏  
(3) 内容  
① 避難所体験…校長・教頭・校務・地区町内会長・PTA役員が避難所担当全ての家族が避難民になった想定でロールプレイを行う。  
② 体験ワークショップ…通学団を4ブロックに分け、「簡易トイレ」、「備蓄毛布、投光器、はそり鍋の展示」、「アルファ米の試食」、「間仕切り用段ボールと防災グッズの展示」の四つのブースを順に見学する。

<本件連絡先 A市立A小学校 教頭 〇〇〇 田〇〇-〇〇〇〇>

## Check

## ほとんどの保護者が参観し、約80%が満足

- 都合のつく時間に来校できるので、ほとんどの児童の保護者が参加した。親子防災教室に関しては、ほぼ100%の参加率であった。地域の方の参加も増えてきた。
- 学校評価アンケートでは、約80%の保護者が学校公開日に満足しているが、「イベント的なものでなく、ふだんの授業が見たい」や「平日の参観は難しい」という意見があった。

## Act

## 更に多くの方々に参観してほしい

- 保護者には、4月の初めに年間行事計画を配付し、1年間の予定を知らせた上で、1か月前には案内を出し、1週間前には、授業内容の分かる案内を出すようにしたい。
- 地域には、参加の案内を回覧板で回して、周知するようにしたい。

更に多くの方々に学校での子どもの姿を見てもらい、学校を理解してもらいたい。

## Plan

## 外国人児童の保護者にも確実に情報を伝えたい

## 現状

- ・年々外国人児童の割合が増え、現在は全校児童約300名中、約180名が在籍している。
- ・学校生活の中で、日本語を覚えていく外国人児童は多いが、日本語を理解できる保護者は少なく、学校からの連絡を伝えるのに苦労している。

## 計画

発信方法を工夫して、全ての児童の保護者に学校からの情報を確実に伝えたい。



## Do

## 外国人児童の保護者向けの通信や案内文書を作成し、配付する

- ポルトガル語やフィリピン語、英語に翻訳した通信を作成し、配付する。

## 【B小学校の取組の詳細】

- ※ 日本語版の裏面にポルトガル語版を印刷している。
- ※ 日本語版の重要な語句に、フィリピン語と英語を併記して配付している。
- ※ 学校用PCの専用フォルダに通信等を入れておくと、通訳の方が翻訳してくれるシステムを構築した。

## Revisão das atividades do setembro

9月の行事の様子

## Treino de prevenção contra acidentes

避難訓練

No 1/9 (ter) realizamos 2º treino deste ano de evacuação na hora do desastre. o treino desta vez foi para o terremoto. Quando há fluxo de alerta precoce, esconder sob a mesa imediatamente. Após agitação acalmar, abrigamos no Ginásio. Desta vez fizemos a pesquisa de treinamento. Estar consentizados sempre para acidentes é fundamental.



- ポルトガル語版通信の一例「避難訓練」の記事。日本語版と同じレイアウトにしている。
- 通訳や語学相談員の方に作成してもらっている。

- 日本語にフィリピン語と英語を併記した案内文書の一例。通訳の方に手書きしてもらっている。

フィリピン語

英語

PAUNAWA SA TRIBADONG PAKIKIPAG-USAPO SA GURU (PRINCIPAL)

個人懇談会のお知らせ

NOTICE FOR A PRIVATE CONVERSATION TO A TEACHER

★1年～6年、特別支援学級の全家庭の皆様  
(1. 2年生で3年～6年に兄弟がおらず、通訳が必要な児童の家庭を除く)  
MGA GRADE 1 AT GRADE 3 NA WALANG KAPATID NA GRADE 3~GRADE 6 AT KAILANGAN ANG TAGAPACALIN (INTERPRETER)

第1回目の個人懇談会を下記の日程で実施いたします。学習・生活のようすや夏休みの家庭学習や過ごし方等について話し合います。限られた時間内での懇談ですがよろしくお願いたします。 PARA PO SA MGA UNANG BEBES NA MAKIKIPAG-USAPO SA GURU. TATALAKHAN NG AUNG TUNGKAP SA PAG-AARAL NG AUNG, BUNAY EKSKOLAHAN, MGA TAGAPANG ARALIN AT IBA PA. MARAMING SALAMAT DOGA INYONG

1 懇談予定日 SCHEDULE : ORAS.

BIYERNES	LUNES	MARTES
7月10日(金)	7月13日(月)	7月14日(火)

## Check

## 学校行事への保護者の参加率が増加

- ・外国人児童の保護者の理解が高まり、学校行事への参加率が増えてきた。
- ・外国人児童の保護者の学校への問合せの電話が減った。
- ・緊急の携帯メール配信も、日本語版、ポルトガル語版、平仮名版（フィリピン語、英語の保護者向け）を発信しているが、外国人保護者には伝わらないことが多い。

## Act

## 緊急時の情報伝達も確実にしたい

- ・外国人児童の保護者の緊急情報に対する意識を高揚するため、懇談会の際に説明会をもつ。
- ・勤務時間中にメール配信しても、外国人保護者には伝わらないことが多い。事業所等への協力を依頼し、児童の安全安心を確保していきたい。

外国人児童の保護者にも確実に情報を伝達して、児童の安全安心を確保したい。

## Plan

## 家庭・地域からの協力を得て、健やかな子どもを育てたい

## 現状

- ・明治開校の歴史ある学校で、1,000人以上の児童が在籍した時期もあったが、現在は約250人が在籍している。
- ・学校に対して協力的な地域であり、教育熱心な家庭も多く、学校に対する要望は多い。



## 計画

学校の願いや思いを発信し、家庭・地域とともに健やかな子どもを育てたい。



## Do

## 経営方針や校長の思いを学校通信に掲載する

- 4月当初の学校通信に、本年度の経営方針を子ども向けの言葉に直した「今年の合い言葉」を掲載し、折に触れ、この合い言葉の下、子どもの生活を振り返る記事を掲載する。

## 【C小学校の取組の詳細】

- ※ 1週間に1回程度、校長が執筆した学校通信を発行している。
- ※ 児童の活動を紹介することが一番の目的であるが、学校経営方針や校長の思いも掲載している。
- ※ 公民館や児童館等、地区の方の届く所にも掲示している。

- 入学式・始業式の翌日に発行した学校通信。「今年の合い言葉」を示して、本年度目指す子ども像を明らかにし、協力を依頼している。

- 「今年の合い言葉」に関する追加の記事。合い言葉の意味を詳しく説明し、子どもに対する教職員の姿勢を家庭・地域の方々に示している。
- 児童会が作成した横断幕の写真を掲載し、学校全体で取り組んでいることが分かるようにした。

## 「まじめであれ! ~あたり前の事をあたり前に~」

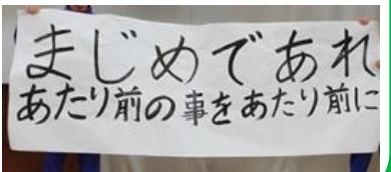
本日の入学式・始業式の式辞の中で、C小学校の「今年の合い言葉」を伝えました。

これは、決して今のC小っ子が不真面目というわけではありません。昨年度までの子どもたちを見てきて、C小っ子は、あたり前の事をあたり前にできる真面目な子どもたちに育ってきたと強く感じます。「この真面目さを定着させたい」「あたり前にできることを増やしたい」という思いをこめた合い言葉です。今まで「すごいなあ」と感じたことが、C小っ子にとって『あたり前』のこととして感じられるようになったら、それはC小が更に素晴らしい学校になったということです。全校児童250名一人一人が、「まじめであれ! ~あたり前の事をあたり前に~」の合い言葉のもと、充実した学校生活を送ることができるよう頑張っていきたいと思います。子どもたちのさらなる成長を期待しています。

## 「あたり前にできる事」とは

「あたり前にできる事」は、子ども一人一人に違いがあると考えています。みんなが「あたり前」と言っていることでも、ある子にとっては、とても達成が困難なこともあります。逆に、もっといろいろなことができるのに、自分の「あたり前」のレベルを下げれば怠けてしまうことにつながります。自分にあった「あたり前」を自ら見つけ、実践していけることが大切です。

私たちC小学校の教職員は、目の前の子どもたちが、今より少しでも成長できることを願って、子どもたちの「あたり前」を見定めていこうと考えています。



## Check

## 「今年の合い言葉」を約80%の保護者が認知

- ・学校評価アンケートで、約80%の保護者が「合い言葉」を認知していた。学校通信だけでなく、「子どもから聞いて知っている」という保護者も多くみえた。
- ・「合い言葉」の達成度については、子ども、保護者ともに約60%と低かった。



## Act

## 合い言葉のもと、一人一人が目標を設定するようにしたい

- ・今後も、学校通信を積極的に発行し、家庭と地域に校長の思いを浸透させていきたい。
- ・経営方針や校長の思いから、一人一人の児童が自分の目標を設定する場をつくりたい。

経営方針や校長の思いを浸透させるため、更に積極的に学校通信を発行したい。

# Plan

## 担任の思いや子どもの活躍する姿を伝えたい

- 現状**
- ・素直で元気な子どもたちであり、褒められると素直に喜び、更に成長する子どもが多い。
  - ・目立たないが、清掃や委員会活動など自分の仕事をきちんとやり遂げる子どもが多い。
  - ・教育熱心で協力的な家庭が多く、授業の内容や学級の様子に関心が高い。

- 計画**
- 心と心のきずなを結ぶ学級通信を発行して、思いやりの心を持って一人一人が活躍する学級にしたい。子どもの活躍や学級の様子を保護者に伝えたい。



# Do

## 担任の思いのこもった学級通信を積極的に発行する

- 担任の思いや子どもの活躍する姿を掲載した学級通信を週に数回発行している。

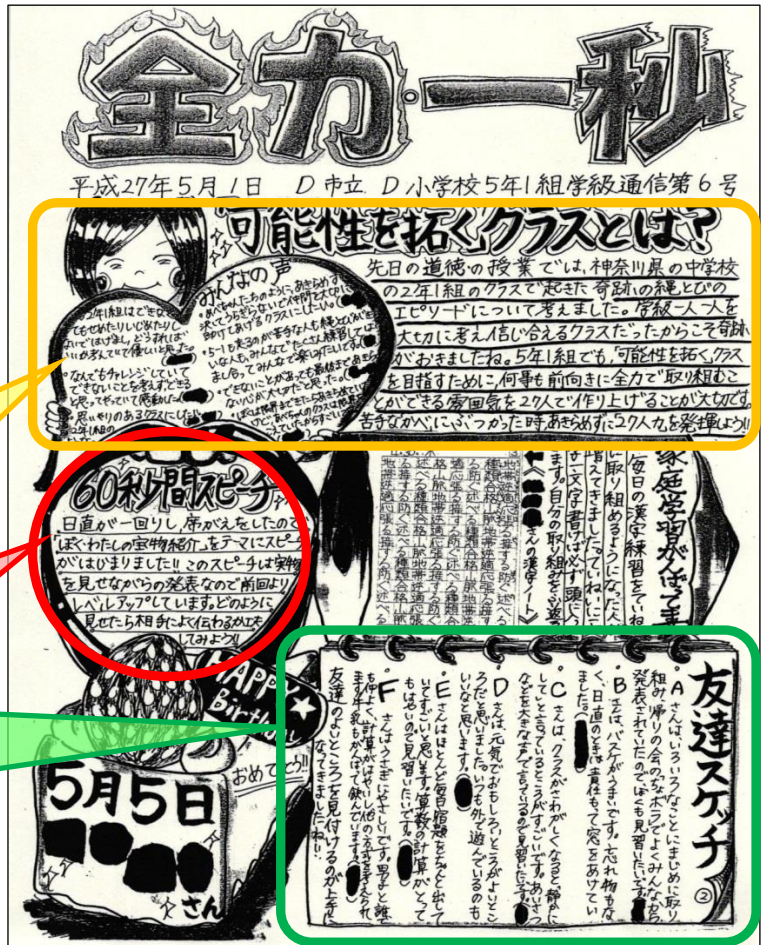
### 【D小学校の取組の詳細】

- ※ 子どもの良い行いを取り上げ、広めるように心掛けている。
- ※ テーマを決めて、子どもや保護者に原稿を依頼して掲載することもある。
- ※ 手書きが多いが、PCで作成することもある。

- 学級経営方針や学級の現状に対する担任の思いを掲載している。学級のきずなを深められるような記事となるように意識している。

- 今、学級が頑張っている取り組んでいる学習内容を掲載している。

- 子ども同士や担任が見つけた“子どもが活躍する姿”、“頑張っている姿”を掲載する。特に、あまり目立たない子どもが日常生活の中で地道に努力している姿を掲載するように心掛けている。



# Check

## アンケートでは、「学級の様子がよく分かる」という意見が多い

- ・学期末に学級通信に関するアンケートを実施している。回収率はほぼ100%である。
- ・アンケートには、「学級の様子がよく分かる」という意見が多く、読んでくださっている方には、確実に担任の思いが伝わっていることが伺える。
- ・子どもが大切に保管していて、学級通信が保護者に届かないという意見もあった。

# Act

## 担任の思いや子どもの活躍する姿がもっと確実に伝わるようにしたい

- ・懇談会の際、保護者から子どもに声を掛けたり、通信を家庭で誰もが見える場所に掲示したりするように依頼する。
- ・家庭と学校をつなぐパイプとなるよう積極的に“担任の思い”を発信していきたい。

よりよい学級を目指して、更に積極的に学級通信を発行していきたい。

## Plan

## 地域の多くの方々に来校してほしい

- 現状**
- ・町内に1校の中学校で、学区が広く、最も遠い生徒は、バス通学で約1時間かかる。
  - ・地域に暮らすほとんどの方が、本校卒業生なので協力的であるが、家から学校が遠く、卒業以来一度も学校に来たことのない方もいる。家族に在校生がいない方が、学校を訪れることは少ない。高齢者の方の割合が高い。



## 計画

学校の情報を地域のたくさんの方々に発信し、地域の方々が気軽に訪問できる学校を作りたい。



## Do

## 通信や案内文書を直接届けたり、回覧板で回したりする

- 高齢者の方は、Webページやメール配信よりも紙媒体での情報の方がよく伝わる。そのため、通信や案内文書は、地区の総代にお願いして、全家庭に回覧板で回してもらっている。また、近所に生徒がいるときは、生徒に配付を依頼している。

## 【E中学校の取組の詳細】

- ※ 右の計画表の通り配付している。
- ※ 各区の総代には、回覧板で回していたできるように、常会ごとの封筒に、回覧板を回す組数分の通信や案内文書を入れ、教頭が持参している。
- ※ 「生徒に依頼」とある方には、住所の近い生徒が届けられている。4月当初、生徒には、届け先の地図を渡し、配付先には、届ける生徒名を伝えている。



【地域の方に案内文書を届ける生徒】

E町立E中学校 通信・案内文書等配付計画

番号	届け先	届け方	番号	届け先	届け方
1	E町教育委員会教育長	交換ポスト	26	保護司(A区)	生徒に依頼
2	E町議会議員	郵送	27	保護司(B・C区)	生徒に依頼
3	E町議会議員	郵送	28	保護司(D・E区)	生徒に依頼
4	E町教育委員会委員長	交換ポスト	29	地域補導員(A区)	生徒に依頼
5	E町立E中学校学校評議員	生徒に依頼	30	地域補導員(B区)	生徒に依頼
6	E町立E中学校学校評議員	生徒に依頼	31	地域補導員(C区)	生徒に依頼
7	E町立E中学校学校評議員	生徒に依頼	32	地域補導員(D区)	生徒に依頼
8	E町立E中学校学校評議員	生徒に依頼	33	地域補導員(E区)	生徒に依頼
9	E町立E中学校学校評議員	生徒に依頼	34	A保育園長	教頭届け
10	E町立E中学校歴代校長	郵送	35	B保育園長	教頭届け
11	E町立E中学校歴代校長	郵送	36	C幼稚園長	教頭届け
12	E町立E中学校歴代校長	郵送	37	D幼稚園長	教頭届け
13	A区総代	学校評議員で重複	38	E町立A小学校長	交換ポスト
14	B区総代	教頭届け	39	E町立B小学校長	交換ポスト
15	C区総代	教頭届け	40	E町立C小学校長	交換ポスト
16	D区総代	教頭届け	41	学校医	郵送
17	E区総代	教頭届け	42	学校歯科医	郵送
18	A区公民館長	教頭届け	43	学校薬剤師	郵送
19	B・C区公民館長	教頭届け	44	歴代PTA会長	生徒に依頼
20	D・E区公民館長	教頭届け	45	前年度PTA会長	生徒に依頼
21	民生委員(A区)	生徒に依頼	46	PTA会長	生徒に依頼
22	民生委員(B区)	生徒に依頼	47	PTA副会長	生徒に依頼
23	民生委員(C区)	生徒に依頼	48	PTA女性部長	生徒に依頼
24	民生委員(D区)	生徒に依頼	49	地域ボランティア	生徒に依頼
25	民生委員(E区)	生徒に依頼	50	地域ボランティア	生徒に依頼

## Check

## 学校行事に来てくださる地域の方々が増えた

- ・行事に来てくださる地域の方々が増えた。合唱コンクールでは、観客が約20%増えた。
- ・生徒や教頭が通信や案内文書を届けた際、多くの方から感謝される。「地域の会合で、学校のことを話題にすることが増えた」という声を聞くことも多い。



## Act

## 来てくださった方には、続けて案内文書を配付するようにしたい

- ・一度来てくださった方には、その後も続けて案内を配付したり、生徒のお礼の手紙を届けたりしている。
- ・直接顔を合わせて、通信や案内文書を手渡しする届け方を今後も大切にしていきたい。

顔を合わせて通信や案内文書を手渡しし、更に多くの方々に来校してほしい。

## Plan

## 学校のサポーターを増やしたい

- 現状**
- かつては1,200人を超える児童が在籍したが、現在は約350人の児童が在籍している。
  - 地域には、本校卒業生の保護者が多い。「学校に協力したい」という思いはあっても、どうやって協力したらよいか分からない」という方が多い。



## 計画

たくさんの方々に学校に来ていただくような機会を設定し、学校のサポーターを増やしたい。



## Do

## 魅力的な学校行事や地域一体型の学習を設定する

- 学校に来たくなるような魅力的な学校行事や、地域の方々が一緒に活動する学習を設定し、その案内や協力依頼の仕方を工夫している。

## 【F 小学校の取組の詳細】

「感謝の会」…通学路パトロールボランティアの方々をお招きし、一緒に給食を食べ、お礼の手紙を渡す活動を行う。通学路パトロールボランティアの方々とは低学年と一緒に下校して下さるので、2年生が中心となって企画し、3学期に実施している。

「蛍の学習」…4年生が総合的な学習の時間に実施。地域の川や蛍を守るための活動を、「川の自然を守る会」の方々と一緒にやっている。

「菜の花プロジェクト」…3年生と6年生が総合的な学習の時間に実施。地区の耕地を使って菜の花を育て、油絞りをを行う学習を、地域の「女性の会」の方々と一緒にやっている。絞った菜種油は、修学旅行の際、奈良や京都の寺社へ灯明用の油として寄贈している。



- 「学校地域コーディネーター」を活用して情報発信している。教頭が、参加してほしい学校行事や協力してほしい活動について、案内文書を持って「学校地域コーディネーター」に依頼すると、地域の方々に連絡し、参加者・協力者を募ってくださる。

※「学校地域コーディネーター」…学校をつなぐパイプ役として活躍されている方。毎年学校が任命。

## Check

## 「来年もやりたい」という方が約70%

- 学校評議員会等で「学校地域コーディネーター」の活動を紹介し、意見を聞いている。「学校との距離が近くなったという声を聞く」という意見があった。
- 協力者へのアンケートでは、約70%の方が「来年もやりたい」と答えていただいた。



## Act

## 更に多くの方々が参加して下さるように工夫していきたい

- 今の取組を形骸化させず、毎年新鮮な気持ちで行事を見直し、改善していきたい。
- 教職員も地域の方々との交流を深め、学校に対する意見を聞くように心掛けたい。

学校と地域が協力し合って、健やかな子どもを育成したい。

## Plan

## “子どもの輝く姿”を家庭・地域の方々にタイムリーに伝えたい

## 現状

- ・全校生徒約 1,000 人の大きな中学校である。
- ・教育に対して熱心な家庭が多く、授業の進度や子どもの学力に関する関心が高い。
- ・地域には学校に協力的な方が多く、「学校のことをもっと知りたい」という声をよく聞く。



## 計画

“子どもの輝く姿”を家庭・地域へタイムリーに発信して、学校に対する理解を図り、「開かれた学校」としての役割を果たしたい。



## Do

## ブログ形式のWebページを積極的に更新する

- “子どもの輝く姿”をタイムリーに発信するために、写真をたくさん用いた情報を発信することとし、ブログ形式のWebページを毎日更新している。

## 【G中学校の取組の詳細】

- ※ Webページ担当の教員が記事を作成している。
- ※ 各学年に係がいて、記事の内容や写真を担当に提供している。
- ※ Webページを更新する際は、管理職の承認を必要とする。

- コンテンツメニューで細分化してあるので、必要な情報をすぐに調べられる。
- アクセスすると『ホーム』のコンテンツの最新情報を見られる。
- 『たより』のコンテンツで、配付された通信等を見られる。
- コンテンツメニューの下にある『表示年度切替』で過去の記事が調べられる。

コンテンツメニュー

- ホーム
- スクールライフ [24]
- 学校概要 [17]
- ニュース [1126]
- たより [27]
- 専修館(証明書案内など)
- 異音のお知らせ [1]
- 各種情報 [45]
- 学校区 安全安心マップ [3]
- 行事予定 [34]
- TOPICS [91]
- PTA [53]
- 情報モジュール [15]
- いじめの発見・解決・防止をめざして [2]
- スーパーバイザー・実践研修 [22]
- 小中学校の学習セットの更新について [1]
- 新学習指導要領 [1]
- 申いじめ防止基本方針 [1]
- 絆プロジェクト組 [121]

検索: 模擬議会

### 市長を囲む子ども会議

8月7日(金)に『市長を囲む子ども会議』が開催されました。これは、「市長が未来を担う子どもたちからの意見を聴き、今後の市政運営の参考とする」ことをねらいとして、市内の中学生と懇談をするものです。本校からも4名の生徒が参加し、さまざまな質問をしました。また、子どもたちも政治やまちづくりに興味・関心をもってもらうとうと、模擬議会形式で行われました。参加した生徒は、G市をより身近なものに感じると共に、今後のG市について考えるいい機会になりました。

アクセス数  
Total: 628381 Today: 201  
Yesterday: 570

カレンダー  
< 2019年10月 >

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

検索

更新情報

- 子どもたちが頑張っている姿を伝えるよう写真を多く掲載している。
- 学校の様子をリアルタイムで伝えるように心掛けている。
- 教職員研修やPTA活動、地域の話も紹介している。

## Check

## 家庭・地域から届く「楽しみにしている」という感謝の言葉

- ・毎日500件ほどのアクセス数がある。修学旅行の記事を掲載した日は2,000件を超えた。
- ・学校評価アンケートの結果では、約90%の保護者が本校Webページに満足している。
- ・「毎日楽しみにしている」など、多数の感謝の言葉が学校に届いている。
- ・教職員からは、「みんなで、もっとWebページを盛り上げたい」という声が上がっている。



## Act

## 誰でもWebページが作成できるようにしたい

- ・担当者だけでなく、誰でもWebページが作成できるように、講習会を予定している。
- ・担当者を増やしたり、当番制にしたりするなど、新しい校内システムづくりを検討したい。

教職員みんなでWebページを作成して、これからも積極的に情報発信していこう。



## Plan

### 学校的话题で、親子のコミュニケーションを広げたい

- 現状**
- 市街地の学校で両親共働きの家庭が多く、親子のコミュニケーションが少なくなりがち。
  - テレビやゲーム、携帯電話・スマートフォンを長時間使用している生徒が多い。

- 計画**
- “生徒の生活を見直すきっかけとなる話題”を発信して、家族が一緒になって考える機会をもってもらい、家庭でのコミュニケーションを広げたい。



## Do

### 「親子で考えてほしい話題」を掲載する

- 「ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイ」について考えさせる記事を、案内文書とWebページで同時に発信した。

#### 【H中学校の取組の詳細】

- ※ ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデーの取組を、学区の小学校とも連携して一斉に行った。
- ※ 生徒や家庭に対する苦言となる話題でも、必要なら積極的に情報発信するように心がけている。

- テスト週間に合わせて、「ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデー」を設定し、その週の初めにWebページをアップした。

10月5日(月)

「ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデー」について



今週は、「ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデー」の取組を行います。この期間中、テレビ、ゲーム、携帯電話(スマホ)から一旦離れ、テスト勉強や家族での時間に当てたいと思います。

最近、「スマホ依存」という言葉もあり、ほんの少しだけですが、気が付けば何時間もインターネットやメールなどのSNSに縛られている中高生が多いと聞きます。この取組が、生活を見直すきっかけになってくれればと思います。

【Webページの記事】

- 上のWebページをアップした日に学区の小学校と同時に案内文書を配付した。取組期間のうち、一日以上取り組むように呼び掛けた。

### ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデー

H中学校区4校学校運営協議会の学習・生活部会では、「早寝・早起き・朝ごはん」などの規則正しい生活リズムを作るとともに、家族との時間を大切にしたいと考え、「ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデー」の取り組みを進めます。

#### ☆ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデーの取り組み方☆

- 1 期間 10月5日(月)から10月16日(金)までの2週間に1日以上取り組みましょう。
- 2 やり方
  - ① 家族で話し合って、わが家の目標を決めます。
    - 《目標の例》
      - ・一日中テレビ・ゲーム・をしない。
      - ・帰宅してからテレビ・ゲームをしない。
      - ・食事中はテレビを見ない。
      - ・夜9時以降はテレビ・ゲーム・ケイタイをしない。
      - ・テレビを見る時間を一日( )時間までとする。ゲームをやる時間を一日( )時間までとする。
  - ② 目標にそって、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデーを実践します。空いた時間は家族で楽しく過ごすようにしましょう。
  - ③ わが家のノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデーを、家族で見直してみましょう。
    - ・家族で話し合って、目標を決めることができましたか。
    - ・決めた目標を守ることができましたか。
    - ・空いた時間を家族で有効に使うことができましたか。

テレビやインターネットからは大切な情報が得られる面もありますが、そこから発せられる情報は逆に子どもたちに多大な影響を与える側面もあります。テレビやゲーム、ケイタイを一切みすることで、テレビやゲーム、ケイタイがある生活を見直すきっかけとだけでなく、テレビやゲーム、ケイタイとの付き合い方を振り返ってもらえればと思います。子どもたちは不満を言わずもしませんが、「少しだけまんをしてみよう」という段階から始められたらと思います。

また、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデーに向けての目標を話し合うことや、ノーテレビ・ノーゲーム・ノーケイタイデー当日の家族との読らいやお手伝い、読書をするなどによって、子どもたちの家庭生活が少しでも豊かなものになっていくのではないかと思います。

【「ノーゲーム・ノーゲーム・ノーケイタイデー」の案内文書】

## Check

### 「家族との会話が広がった」等の意見が届く

- 取組後の感想には、「テレビを見ないことで家族との会話が広がった」などがあつた。
- 来校した保護者や地域の方から聞き取りをし、保護者からは、「兄弟で取り組め、家族で話す時間が増えた」等の感想、小・中学生の子どもをもたない地域の方からは、「こんな取組をしているとは知らなかった。我が家でも取り組みたかった」という意見があつた。

## Act

### 地域にも取組の様子や生徒の感想を発信したい

- 取組の様子や生徒の感想を掲載した学校通信を作成し、家庭・地域に発信したい。
- 学校が取り組んでいることを、地域に確実に伝える情報発信の方法を模索したい。

これからも家族のコミュニケーションが広がるような話題を発信していこう。

## Plan

### 子どもの学力や学習習慣を向上させたい

- 現状**
- ・全校児童約 500 人の中規模の小学校で、住宅街の近くに位置している。
  - ・教育に対して熱心な家庭が多く、授業の進度や子どもの学力への関心が高い。
  - ・年々、本校Webページへのアクセス数が増えている。一日平均 600 件ほどある。

- 計画**
- 児童の学習状況や学習規律に関する情報を積極的に発信することで、児童の学力を向上するための取組を家庭と協力して行いたい。

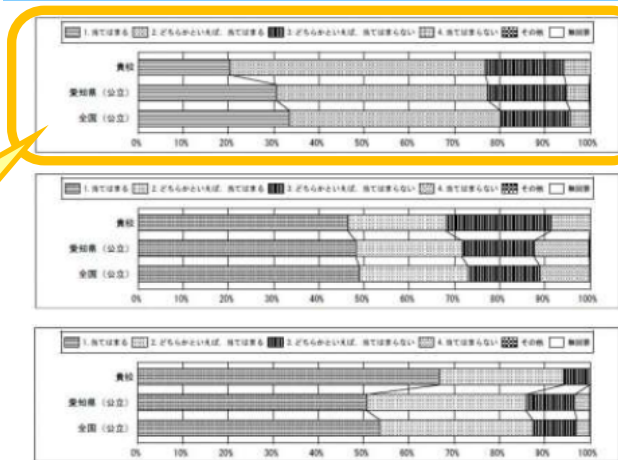


## Do

### 全国学力・学習状況調査の結果と考察を発信する

- ブログ形式のWebページのカテゴリに「学力・学習状況調査」を設け、本校の児童の実態を示している。

児童質問紙結果



#### 【1 小学校の取組の詳細】

- ※ 全国学力・学習状況調査の『児童質問紙』について、全質問とその考察を掲載している。
- ※ 同様の内容を文書で配付している。
- ※ Webページには、普段の授業の様子や本校が大切にしている学習規律についての記事なども掲載し、子どもの学力や学習習慣が向上するよう取り組んでいる。

- 文科省から提供された資料を利用し、本校児童の実態を、県や国と比較している。

- 客観的な考察となるよう、県や国と比較したり、他の質問と関連付けたりするように心掛けている。
- 学習意欲が向上するよう、良い面はしっかり褒めるようにしている。
- 学校として、今後どのような点に留意していくかを示すとともに、家庭での協力も依頼している。

■ 5 2 国語の授業の内容はよく分かりますか  
 全国・愛知の平均値と比較して、「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」は大きな差異のない値を示していますが、「当てはまる」がやや少ない傾向が見られました。子どもたちに分かる授業を展開できるよう、力量の向上に努めます。

■ 5 3 読書は好きですか  
 全国・愛知の平均値と比較して大きな差異はありませんが、読書に関する質問「17・18」では、やや読書量が少ない傾向が読み取れます（参照：児童質問紙結果6）。「読書好きが増える←読書量が増える」という好循環が生まれるような仕掛けを考えていきたいと思います。

## Check

### 自分の子どもの学力や学習状況について、もっと知りたい

- ・学校評価アンケートに「自分の子どもの学力や学習状況について、もっと詳しく知りたい」という内容のコメントが、20 件程度あった。
- ・授業の様子を楽しみにしている方が多く、記事掲載時にはアクセス数が上がる。

## Act

### 家庭・地域と協力して子どもの学力や学習習慣を向上させたい

- ・全国学力・学習状況調査の結果と考察は、学年・学級懇談会やPTA 役員との懇談会などで、直接説明する機会をもちたい。
- ・課題に対する取組を家庭・地域にも理解していただき、積極的に協力をお願いしたい。
- ・個々の子どもの実態については、個人面談の折に詳しく説明できるようにしたい。

家庭での学習を充実させ、子どもの学力や学習習慣を更に向上させたい。

## Plan

## 子どもを安全に登下校させたい

## 現状

- ・市の中心部に位置し、通学路には、繁華街や狭い上に交通量の多い道路がある。
- ・学区に子どもが集まれる場所が少ないため、集団登校は実施していない。下校は学年ごと。
- ・1年生だけの下校には、地域の交通安全ボランティアが同行して下さる。



## 計画

学校が入手した自然災害や不審者情報を発信し、子どもを安全に登下校させたい。



## Do

## 子どもの安全安心に係る情報をメールで配信する

- 保護者に、市が提供する携帯メール配信サービスへの登録をお願いし、学校が入手した自然災害や不審者情報をメール配信している。

## 【J小学校の取組の詳細】

- ※ 市が提供している携帯メール配信サービスにある「J小お知らせ」を利用している。毎年4月当初に全家庭に「携帯メール配信サービス登録のお願い」の文書を配付し、登録を促している。
- ※ 情報保護の観点から、「J小お知らせ」に登録するには、パスワードが必要なので、保護者と学校評議員、交通安全ボランティアの方に知らせている。
- ※ 市内の全小・中学校に関わる不審者等の情報は、市が一括して発信している。
- ※ 安全安心に関わる情報だけでなく、運動会の開催情報や宿泊行事からの帰校情報もメール配信で知らせている。
- ※ 携帯メール配信サービスに登録しない方には、直接電話連絡するようにしている。

差出人: 学校のメールアドレス  
 日時: 2015年7月16日 9:05:37  
 宛先: 登録者のメールアドレス  
 件名: J小より台風接近のお知らせ  
 J小保護者の皆様へ  
 台風11号が東海地方へ接近する可能性が出てきました。今後の台風の進路情報に御注意ください。  
 なお、明朝、午前6時30分の時点で暴風警報が発表されていた場合、市内一斉に休校となりました。午前6時30分の時点で暴風警報が発表されていない場合は、弁当持参での登校となりますが、雨風が強くと、登校が危険な場合は、保護者の判断で登校を見合わせても結構です。その場合は、必ず学校へご連絡ください。  
 詳しくは、本日子どもに配付する文書で確認してください。 J小学校

- メール配信だけでなく、案内文書による情報発信も行うことが大切である。このような一文を入れておくことで、家庭での親子のコミュニケーションが広がると考える。

## Check

## 各家庭の登録率は、年々増加している

- ・4月末の家庭訪問の際に、各家庭の登録状況を確認している。
- ・年度替わりに登録し直さなければいけないシステムのため、毎年、4月当初の登録率が低いことが課題であったが、本年度は90%を超えた。
- ・「修学旅行先でのリアルタイムの情報をメール配信してほしい」という声が挙がっている。



## Act

## メール配信する目的を家庭と共有するようにしたい

- ・メール配信は、「学校からの緊急連絡」を伝えるものであることを「携帯メール配信サービス登録のお願い」の案内文書に掲載し、メール配信の目的を家庭と共有できるようにしたい。
- ・どのような情報をメール配信するか、具体的に示すようにしたい。

これからも子どもの安全安心のためにメール配信を活用していこう。

## Plan

## 家庭・地域の方々の反応をすぐ知りたい

- 現状**
- ・全校児童約 100 人の小さな小学校。学区が広く、登校に 1 時間近くかかる児童もいる。
  - ・家庭・地域には、学校に協力的な方が多いが、学校公開日や運動会等の学校行事に対する意識が高く、内容によっては、学校に対して厳しい意見を言う方もいる。



## 計画

学校行事後、すぐにお願ひできる即時アンケートの仕方を工夫し、家庭・地域の方々の声を聞きたい。



## Do

## Webページ上での即時アンケートを実施する

- Web ページ作成システムにある外部アンケート支援システムを使って、学校公開日や運動会后、すぐに Web ページ上でアンケートを実施し、集計結果を報告している。

## 【K 小学校の取組の詳細】

- ※ アンケートは、あらかじめ作成しておき、設定した日時（行事終了後すぐ）に、あらかじめ登録された方のメールアドレスに発信するようにしている。
- ※ アンケートは、回答用の Web ページに接続できる環境であれば、携帯電話からでも PC からでも回答することができる。
- ※ 回答されたアンケートは、リアルタイムで集計され、グラフ化されるシステムとなっている。
- ※ アンケートの設問は、毎回 5 問程度とし、選択肢を選ぶものを多くしている。また、自由記述ができる設問も用意している。
- ※ 様々な機会に、アンケートへの協力をお願いしている。

## 9.21. 運動会アンケートより

運動会への御参加ありがとうございました。

当日の来賓、そして保護者へ「運動会アンケート」をお願いしています。

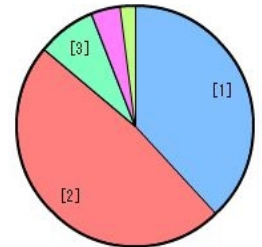
23 日（水・祝）まで回答できます。御協力をお願いいたします。

本日（21 日）までの回答から一部を紹介します。

\*\*\*\*\*

問；運動会は、いかがでしたか？（右上图）

[1]とても良かった [2]良かった [3]あまり良くなかった [4]良くなかった [5]行けなかった



問；運動会の児童の活動・演技で、良かったと思う点をお教えてください。

- ・悪天候が続いたが、子どもたちはよく頑張ったと思う。6年生は、役割分担の仕事もよくできていたと思う。
- ・子どもたちの真剣に頑張る姿がとても良かった。
- ・赤組、白組それぞれ応援グッズを作り、しっかり応援することができていたと思います。応援が誰にでもできていて気持ちが良かったです。
- ・例年と比べて応援に力が入っていました。どの競技にも熱心に取り組んでいる様子がよく伝わって来ました。
- ・子どもが心から楽しんでた様子が伝わってきた。前から準備を進めていた応援グッズが良かった。その日一日だけでなく子どもたちの継続的な取組がよく見えた。
- ・順位の入れ替わりが激しく、大変面白かったです。

- 締め切り日前に、アンケートの途中経過を Web ページ上で紹介することで、最終的な回答数は増えた。

## Check

## 家庭・地域の方の本音がよく分かる

- ・約 70% の保護者から、アンケートの回答を得ることができた。
- ・批判的な意見は少なかったため、教職員の満足感も得ることができた。
- ・インターネットを使わない保護者や地域の方もあり、全ての方の意見は集まらない。



## Act

## 即時アンケート以外でも、家庭・地域の方の声が届くようにしたい

- ・即時アンケートの内容は、文書でも用意し、必要な方には配付する。
- ・行事後に保護者や地域の方に会った際には、行事の感想を聞くように心掛ける。

家庭・地域の方の意見を次の学校行事に生かしていこう。

## 【編集後記】

本リーフレットの編集に当たり、多くの学校から様々な事例を提供していただきました。その中に、次に示すような事例がありました。

### 「修学旅行の様子を詳しく伝えたい」という思いを情報発信したのに……。

6年生の修学旅行の折、6年主任に随時、写真データを送ってもらって、修学旅行の様子を学校のWebページにアップした。2日間で20回。ほぼ見学地ごとに更新した。アクセス数は、普段の3倍以上に増えた。

旅行終了後、保護者からは、「旅行中の様子がリアルタイムで分かり、まるで子どもと一緒に旅行しているようでした。」や「家族旅行以外の旅行は初めてだったので、子どもよりも私たち両親の方が心配していましたが、学校のWebページで、子どもが笑顔で活動する様子を見ることができ、とても安心できました。ありがとうございました。」など、感謝の言葉をたくさんいただいた。

そのような中に、「学校のWebページで、旅行中の出来事や子どもの様子が全て分かったので、家で子どもから聞くことはありませんでした。」という感想があった。情報を受け取る方の思いは様々であると再認識した。「修学旅行の情報をきっかけに、家族のコミュニケーションを広げてほしい」という学校の願いをしっかりと伝えておけばよかったのかなど、情報発信の在り方を考え直すきっかけになった。

積極的な情報発信が行われている愛知県の小・中学校において、「学校としての願い」をきちんと伝えられることができれば、家庭・地域からの信頼を今よりもっと厚くすることができると考えます。本リーフレットは、学校からの情報発信のマニュアルではありません。各学校が、その学校の現状に合った情報発信の在り方について、考える際の一助となれば幸いです。子どもの笑顔を家庭・地域に届け、子どもや教職員が生き生きと活動できる学校をつくりましょう。

## 平成 27 年度愛知県義務教育問題研究協議会〈委員〉（順不同・敬称略）

- |     |                                  |
|-----|----------------------------------|
| 会 長 | 野田 敦敬（愛知教育大学副学長）                 |
| 副会長 | 奥村 英俊（犬山市教育委員会教育長）               |
| 委 員 | 樋口 貴子（(株)キャリアデザイン代表取締役社長）        |
|     | 飯島 康之（愛知教育大学教授）                  |
|     | 松永恵美子（愛知県地域婦人団体連絡協議会長）           |
|     | 杉浦 隆（NHK名古屋放送局編成部アナウンス専任部長）      |
|     | 川合 基弘（知立市教育委員会教育長）               |
|     | 鈴木 康仁（蒲郡市教育委員会委員長）               |
|     | 谷 直衛（東郷町教育委員会教育長）                |
|     | 金田 慎也（名古屋市教育委員会学校教育部長）           |
|     | 加藤 千博（東海市立加木屋小学校長）               |
|     | 伊藤 久仁（名古屋市立高蔵小学校長）               |
|     | 杉山美津夫（名古屋市立白鳥小学校教諭）              |
|     | 横地 公保（西尾市立西尾中学校教諭）               |
|     | 池田 滋幸（愛知県小中学校PTA連絡協議会 平成26年度会長）  |
|     | 池田 和泉（愛知県小中学校PTA連絡協議会 平成26年度副会長） |
|     | 三浦 那智（愛知県小中学校PTA連絡協議会 平成27年度会長）  |
|     | 草野由美子（愛知県小中学校PTA連絡協議会 平成27年度副会長） |
|     | 平井 克明（愛知県総合教育センター研修部長）           |

## 平成 27 年度愛知県義務教育問題研究協議会〈専門部会委員〉（順不同・敬称略）

部会長 飯島 康之（愛知教育大学教授）  
委 員 加藤 智（愛知淑徳大学准教授）  
真島 聖子（愛知教育大学准教授）  
佐々木尚也（設楽町立設楽中学校長）  
松井 良行（知立市立知立東小学校主幹教諭）  
長谷川勝一（岡崎市立額田中学校主幹教諭）  
千田 道子（小牧市立光ヶ丘小学校教諭）  
伊藤 久美（あま市立宝小学校教諭）  
横田知加子（蒲郡市立蒲郡東部小学校教諭）  
北垣戸正樹（一宮市立浅井中学校教諭）  
水野 明美（扶桑町立扶桑中学校教諭）  
松原 幸平（尾張旭市立旭中学校教諭）  
加木屋直規（愛知県総合教育センター基本研修室長）

## 平成 27 年度愛知県義務教育問題研究協議会〈事務局〉

竹下 裕隆（愛知県教育委員会学習教育部長）  
高田 和明（愛知県教育委員会義務教育課長）  
柵木 智幸（愛知県教育委員会義務教育課主幹）  
太田佳永子（愛知県教育委員会義務教育課課長補佐）  
鈴木 佳樹（愛知県教育委員会義務教育課課長補佐）  
河合 康博（愛知県教育委員会義務教育課主査）  
川地 正晃（愛知県教育委員会義務教育課指導主事）  
伊藤 孝明（愛知県教育委員会義務教育課指導主事）

「学校からの情報発信の在り方」リーフレット

子どもの笑顔を家庭・地域に届けよう〈事例編〉

---

発行日 平成 28 年 3 月 31 日

制 作 愛知県教育委員会 義務教育課

〒460-8534 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号

電話 052-961-2111（県庁代表）

義務教育課 Web ページ <http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/gimukyoiku/index.html>  
に掲載してあります。